

若年認知症専門員の活動報告

私は、長野県南部に位置する飯田市というところで活動しています。周囲をアルプスに囲まれ、自然豊かなとても素敵な街ですが、一方で大都市圏へのアクセスは非常に悪く、“陸の孤島”とまで表現されることがあるほどです。そんな飯田市の飯田病院、重度認知症デイケアに勤務しています。

当デイケアでは、若年認知症のグループ活動「若保会」^{わかたもかい}を週に1度、水曜日の午前中に開催しており、私と専門員1期生の鎮西が担当しています。現在の参加者は3名。ゴルフの打ちっぱなしやボーリングなど、馴染みの運動で汗を流したり、喫茶店でコーヒーを飲みながらゆっくりと話をする、といった活動を行っています。

その若保会の活動に関して、昨年の10月に開催された日本精神科医学会学術大会で発表する機会をいただき、功労賞をいただくことができました。また、長野県では認知症の人とタスキをつなぐ「RUN 伴」を毎年開催しており、若年認知症の方の参加も徐々に増えています。今年は「RUN 伴+Nanshin」という姉妹イベントとして開催が決まり、長野県南部の実行委員長を務めさせていただくことになりました。RUN 伴+Nanshin では、「認知症は脳の器質的変化が…」といった難しい話は置いといて、誰もがお祭り感覚で楽しめる、気軽に遊びに来れる様なイベントを目指しています。

先日は、長野県委託事業の若年認知症支援コーディネーターに推薦され、初任者研修を受講させていただきました。とはいえまだまだ始まったばかり。課題は多く、大きな不安を抱えながら準備を進めているところです。

若年認知症専門員としてはまだまだ足りないことも多く、立ち止まることも多い現状です。ですが、専門員研修で学んだことや専門員の仲間とのネットワークを生かしながら、今後も少しずつ活動の場を広げていきたいと思っています。

社会医療法人 栗山会 飯田病院
重度認知症デイケア からたち
若年認知症専門員 2期生 関川 由紘

